

令和5年3月町議会定例会

教育長 教育方針演述要旨

西和賀町教育委員会

日頃より本町の教育行政の推進に関しまして、議員各位をはじめ、学校・保護者・地域の皆様方から、力強いご支援をいただいていることに感謝申し上げます。

本日、ここに「西和賀町議会定例会」が開催されるに当たり、令和5年度の教育行政推進の大要について申し上げます。

教育委員会は、「西和賀町教育振興基本計画」が掲げる目標「未来を拓き 地域を愛する人を育てるまちづくり」に基づき、「生涯学習」、「学校教育」、「生涯スポーツ」、「歴史や文化」の4つの分野ごとに教育行政施策の具体的な取組を進めて参りました。

今年度を振り返りますと、「生涯学習関係」では、デジタル社会へ対応したメルカリ教室や、各種教養を深める「町民大学講座」、参加者の交流も大事にした「高齢者大学講座」、「スポーツ交流会」等、多くの参加者を集めて開催できました。図書室運営においては、新刊図書の購入、照明や空調の整備、文化創造館「銀河ホール」では音楽や落語等の自主公演事業の開催、各種研修会や文化教室等の貸館

事業、町の行事等に活用され、利用者も増えている状況です。また、「男女共同参画」においては、多くの方々からご意見をいただき、性差によらない、個々が輝ける町にするための「第2次西和賀町男女共同参画プラン」が、間もなく完成するところです。

「学校教育関係」では、「コミュニティ・スクール」をスタートさせ、委員の方々に学校運営に参加していただいております。また、導入したタブレット端末の有効活用や、保育所・園・小中学校・高等学校が連携した授業実践を行い、児童生徒の資質・能力の向上に努めて参りました。スポーツ面でも、環境整備や中学校への部活動支援員の配置等により多くの児童生徒が県大会出場や上位入賞を果たしております。さらに、小学校では運動・食・生活習慣の一体を目指した「60プラス運動」の優良実践校として高い評価をいただいております。結果、学習やスポーツに関わる多くの調査項目で県や全国の平均を上回ることができました。

西和賀高校の魅力化では、県外募集の本格的スタートと

男子学生寮の整備を進めました。この事業を通しての志願者はまだありませんが、問い合わせや町を訪問し検討する方も出始めています。また、高校とユキノチカラ協議会とで「魅力発見ラボ」を立上げ、町をモチーフとしたラインスタンプや新たな商品開発に取り組んでおり、その成果を期待しているところです。

以上、令和4年度の実績と現状をお伝えいたしました。今後は今まで以上に少子化と人口減少に伴う多くの課題に向き合うこととなります。町の教育の執行機関として、多様な学びの機会を提供し、共に未来を切り拓こうとする志を育む教育行政の推進に努めて参ります。

それでは4つの基本方針に沿って、令和5年度の教育行政における具体的な方向性について、述べさせていただきます。

○第1「生涯学習の推進と環境づくり」について

生きがいとやりがいをもてる機会の創出と、これを支える人材発掘と育成を視野に入れた活動を推進して参ります。

まず、「自主的学習」として「町民教養講座事業」や「高齢者大学講座事業」等を継続し、学習意欲の高揚と健康増進を支援して参ります。併せて、町内にはこれらの事業を支える資格や経験を有した方々も少なくないことから、人材確保にも努めて参ります。

読書活動の推進については、その拠点である川尻、太田の図書室を、新刊図書や要望の多い雑誌の配置、喫茶コーナーの設置等の検討を行い、気軽に活用できる場所となるよう努めて参ります。また、「第2次西和賀町子どもの読書活動推進計画」に沿って、就学前の子どもや児童生徒に対しての読み聞かせと読書会を行い、子育て支援の一助として参ります。

「社会教育」については、「町づくり出前講座」を中心に事業を推進する他、「第2次男女共同参画プラン」を用い、集会所等に出向き、プランの理解と具体的行動につながる研修を開催します。また、町内の全学校にもプランを配布し、一人ひとりが大切にされる共生社会づくりに参画できるよう、授業で役立ててもらいます。

「教育振興運動」については、今年度に各校が設置した「コミュニティ・スクール」の仕組みを活用し、地域の方々と体験的活動を通して、絆と郷土愛を育みます。また、子ども達を取り巻く現状と第2次西和賀町総合計画後期基本計画を踏まえ、「第2次西和賀町教育振興基本計画」を策定します。

○第2「未来を担う子どもたちの生きる力を育む学校教育」について

学校は、児童生徒一人ひとりにとって目標や夢を実現する最初の社会の入り口です。地域に見守られながら、自らを高め、「努力を惜しまず未来を切り拓きたい」という志を育てるために、次の7つの項目を中心に取り組みます。

はじめに、「児童生徒の健康」についてです。学校保健会や西和賀町総合給食センターの職員と協力し、健康と食育に関する学習を推進し、運動の習慣化を図り、自らの健康は自ら守る子どもの育成に努めます。

2つ目は、「地域愛を育てる教育」についてです。学校と

地域をつなげる地域コーディネーターを配置し、森林環境教育、農業体験、防災教育、ふれあい保育等を推進し、多くの方々と交流を深め、町の誇りを表現できる学習を推進します。

3つめは、「教職員の働き方改革」についてです。健康で働きがいのある職場づくりに向けて、「西和賀町教職員働き方改革プラン」を策定します。勤務状況のデータと職場の声に基づき、今以上に児童生徒に寄り添える職場環境を目指します。また、中学校の全ての部に部活動指導員を配置し、質の高い指導と教職員の負担軽減を図ります。

4つめは、「確かな学力の育成」についてです。鍵は先生方の授業力向上です。令和5年度は、中学校1校を授業公開校に指定し、「個別最適な学び」と新しい価値を作る「協働的な学び」のある授業の提案をしていただきます。また、ICT機器を含む教育環境整備と各種検定料の公費負担、そして英語講師の2人体制を継続し、教科学習の支援を行います。検証は、全国や県、本町独自の諸調査の結果を用いて行い、授業や支援の改善を図ります。学びや生活に不

安を抱く児童生徒へは、特別支援教育支援員を各学校に複数人配置し支えていきます。また、この教育の中核である花巻清風支援学校及び健康福祉課、医師等との連携を図り「教育支援委員会」を年4回開催し、「誰一人取り残さない教育」を推進します。

5つめは、学校のホームページの開設を検討いたします。各学校の教育目標や沿革等の基本情報と、特色ある教育活動を紹介し、地域や転勤で来られる方々、移住を希望される方々の一助となるよう情報を提供します。

6つめは、西和賀高校の魅力化についてです。学校が行う習熟度別・少人数指導を支えるために、公営塾と語学研修を継続します。併せて、「魅力発見ラボ」の充実と県外募集を推進し、志願者の確保と町の活力につながるよう支援して参ります。

最後は、「町の教育の在り方」の検討についてです。小学校が統合し10年以上が経過しました。この間、さらなる少子化と校舎の老朽化も進んでおります。そこで仮称となりますが「西和賀町学校教育在り方検討委員会」を設置し、

今後の町の教育について検討します。また、保育環境の在り方についても、広く意見を求め、検討をして参ります。

以上となりますが、ここに生まれ育った子どもたちが、高校までの18年間、西和賀の教育によって、これから迎えるどんな社会にでも臆することなく生き抜ける人材を育て上げるよう最大限の努力をして参ります。

○第3「誰もが参加できる生涯スポーツの振興」について

スポーツ振興では、町民が生涯にわたりスポーツに親しみ「健康で活気あふれるまちづくり」を目指し取り組んで参ります。コロナ禍による運動と交流の機会の喪失や、学校の地域部活動への推進を求められている現状においては、地域ぐるみで運動を展開することは喫緊の課題です。

そこで、アンケートでいただいたご意見やニーズを参考にスポーツが出来る機会の創出と、新たに地域スポーツコーディネーターを配置し、地域部活動の推進と体育協会やスポーツ少年団等の組織強化を図ります。また、指導者育成研修会への参加を呼びかけ、町のスポーツを支える指導

者の養成にも努めます。施設設備については、学校施設の積極的な開放や体育施設の環境整備を行い、利用者の拡大を図って参ります。

コロナ感染拡大で叶わなかった県を越えた選手の集まるスポーツイベントの開催と交流を推進し、スポーツを通じた町の活性化に努めて参ります。

○第4「地域の歴史や文化の継承と創造」について

文化芸術は、心豊かな生活を実現していく上で欠かせない活動であり、西和賀町で暮らす心の拠り所になります。今後も文化芸術活動に親しむ活動を中心に、文化財の整理と周知、各施設の積極的な活用を推進して参ります。

文化交流では、町の芸術文化協会と連携し、発表の場を設け各地区の文化・芸術の普及と伝承を支援します。文化財については、定期的なパトロールを行い適正な保護と管理を進め、広く紹介する活動を展開します。旧石器時代の遺跡の「大台野遺跡」や平泉の栄華を偲ばせる「秀衡街道」についても、関係する大学や諸団体と連携し、資料整理と

展示を行い、「西和賀町歴史民俗資料館」の充実を図ります。文化創造館「銀河ホール」については、舞台照明設備の改修を行い、演劇活動を軸に関係団体と連携しながら、町外からも人を呼び込む活動を推進します。また、今年は、湯田中学校が岩手県中学校文化連盟の主催する「県中学校文化祭舞台部門」で演劇を披露します。それに合わせて、沢内中学校との演劇交流も図ります。他に、常設公演やホワイエのロケーションを活用した催し等の開催と、「かわまちづくり事業」とも連携し、町の魅力を発信し多くの方々に愛される施設にして参ります。

以上、令和5年度教育行政の具体的な方向性について申し上げます。これからも長い歴史の中で培われてきた文化や伝統を大切にするとともに、新たな目標に向けた活動を行い、「未来を拓き 地域を愛する人を育てるまちづくり」の実現に努めて参る所存ですので、議員並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。